

定期作況報告（最終）

（第7号 令和2年11月20日現在）
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

《令和元年（2019年）》

11月：平均気温は1.7℃低く、降水量は平年の60%、日照時間は平年の96%であった。

12月：平均気温は0.1℃高く、降水量は平年の49%、日照時間は平年の90%であった。

《令和2年（2020年）》

1月：平均気温は0.2℃低く、降水量は平年の23%、日照時間は平年の120%であった。

2月：平均気温は0.1℃低く、降水量は平年の75%、日照時間は平年の125%であった。

3月：平均気温は1.5℃高く、降水量は平年の89%、日照時間は平年の122%であった。

4月：平均気温は0.8℃低く、降水量は平年の88%、日照時間は平年の98%であった。

5月：平均気温は0.1℃低く、降水量は平年の162%、日照時間は平年の105%であった。

6月：平均気温は0.1℃低く、降水量は平年の122%、日照時間は平年の66%であった。

7月：平均気温は0.7℃低く、降水量は平年の58%、日照時間は平年の120%であった。

8月：平均気温は0.1℃高く、降水量は平年の61%、日照時間は平年の95%であった。

9月：平均気温は0.8℃高く、降水量は平年の65%、日照時間は平年の86%であった。

10月：平均気温は0.5℃高く、降水量は平年の115%、日照時間は平年の88%であった。

本年の根雪終は3月31日で平年より13日早く、積雪期間は平年より5日短かった。耕鋤始（融雪剤散布圃場）は4月16日で平年より4日早かった。なお、晩霜は欠測である（表1）。令和元年11月から令和2年10月までの気象は表2のとおりである。

以上、農耕期間の4～10月についてまとめると、平均気温は平年に比べて4月が0.8℃、7月が0.7℃低く、9月は0.8℃高かったが、それ以外の月は概ね平年並であった。降水量は、5月が平年の162%、6月が平年の122%、10月が平年の115%と多かったが、それ以外の月は平年の58～88%と少なく、特に7～9月は少なかった。日照時間は7月が平年の120%と多かったが、その他の月は平年の66～105%と平年並から少なく、6月が最も少なかった。5～9月までの積算値は、平年に比べて平均気温が5℃低く、降水量が134mm少なく、日照時間が43時間少なかった（表3）。

表1 季節表

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (月日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)	晩霜 (月日)	初霜 (月日)	降雪始 (月日)
本年	9月26日	11月6日	11月15日	3月31日	138	4月29日	4月16日	未観測	10月21日	11月4日
平年	10月7日	10月25日	11月22日	4月13日	143	4月27日	4月20日	5月14日	10月7日	10月26日
比較	△11	△12	△7	△13	△5	2	△4	-	14	11

注1) 本年は令和元～2年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年の平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。
平年は過去10か年の平均値。

4) △印は平年に比べて早いあるいは短いことを示す。

表2 気象表

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)				降水日数(日)			日照時間(hr)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)
2019年 11月	上旬	3.0	5.0	▲2.0	5.9	9.5	▲3.6	0.7	0.9	▲0.2	26.5	32.1	▲5.6	83	7.0	5.4	1.6	9.8	24.3	▲14.5	40
	中旬	-0.1	1.5	▲1.6	4.2	5.2	▲1.0	-3.9	-2.1	▲1.8	27.5	34.6	▲7.1	79	7.0	6.0	1.0	16.6	19.6	▲3.0	85
	下旬	-2.7	-1.1	▲1.6	2.4	2.2	0.2	-7.8	-4.8	▲3.0	5.5	31.7	▲26.2	17	4.0	7.1	▲3.1	32.1	17.3	14.8	186
平均または合計		0.1	1.8	▲1.7	4.2	5.6	▲1.4	-3.7	-2.0	▲1.7	59.5	98.4	▲38.9	60	18.0	18.5	▲0.5	58.5	61.2	▲2.7	96
12月	上旬	-4.3	-3.2	▲1.1	-0.8	-0.1	▲0.7	-8.4	-7.1	▲1.3	18.5	33.3	▲14.8	56	6.0	7.0	▲1.0	15.5	15.7	▲0.2	99
	中旬	-2.5	-5.1	2.6	1.1	-1.7	2.8	-7.2	-9.7	2.5	10.5	21.9	▲11.4	48	7.0	6.8	0.2	14.2	18.5	▲4.3	77
	下旬	-7.2	-6.1	▲1.1	-3.1	-2.6	▲0.5	-12.8	-10.6	▲2.2	9.5	24.0	▲14.5	40	6.0	8.1	▲2.1	17.7	18.5	▲0.8	96
平均または合計		-4.7	-4.8	0.1	-0.9	-1.5	0.6	-9.5	-9.1	▲0.4	38.5	79.2	▲40.7	49	19.0	21.9	▲2.9	47.4	52.7	▲5.3	90
2020年 1月	上旬	-9.1	-6.8	▲2.3	-5.0	-3.5	▲1.5	-14.4	-11.5	▲2.9	1.5	19.8	▲18.3	8	3.0	6.4	▲3.4	18.6	14.7	3.9	127
	中旬	-8.7	-9.6	0.9	-4.3	-5.5	1.2	-14.4	-15.1	0.7	3.5	15.3	▲11.8	23	4.0	4.7	▲0.7	27.4	24.7	2.7	111
	下旬	-7.4	-8.1	0.7	-2.9	-4.0	1.1	-14.4	-13.6	▲0.8	6.5	15.5	▲9.0	42	6.0	6.2	▲0.2	36.3	29.1	7.2	125
平均または合計		-8.4	-8.2	▲0.2	-4.1	-4.3	0.2	-14.4	-13.4	▲1.0	11.5	50.6	▲39.1	23	13.0	17.3	▲4.3	82.3	68.5	13.8	120
2月	上旬	-11.5	-8.6	▲2.9	-6.6	-4.0	▲2.6	-19.1	-14.6	▲4.5	8.5	12.1	▲3.6	70	3.0	5.0	▲2.0	48.2	28.1	20.1	172
	中旬	-3.7	-6.8	3.1	0.2	-2.6	▲2.8	-8.3	-12.1	3.8	15.5	14.0	1.5	111	5.0	5.3	▲0.3	22.5	32.6	▲10.1	69
	下旬	-6.3	-5.8	▲0.5	-0.7	-0.6	▲0.1	-12.3	-12.1	▲0.2	3.5	10.4	▲6.9	34	3.0	3.7	▲0.7	45.0	31.9	13.1	141
平均または合計		-7.2	-7.1	▲0.1	-2.4	-2.4	0.0	-13.2	-12.9	▲0.3	27.5	36.5	▲9.0	75	11.0	14.0	▲3.0	115.7	92.6	23.1	125
3月	上旬	-2.7	-4.1	1.4	1.9	0.4	1.5	-7.4	-9.9	2.5	9.0	17.9	▲8.9	50	2.0	5.4	▲3.4	37.3	38.8	▲1.5	96
	中旬	-0.9	-1.9	1.0	3.8	2.8	1.0	-6.1	-7.6	1.5	25.5	16.5	9.0	155	4.0	4.4	▲0.4	52.3	44.9	7.4	116
	下旬	1.3	-0.8	2.1	6.6	4.5	2.1	-4.5	-6.5	2.0	7.0	12.3	▲5.3	57	5.0	4.7	0.3	87.5	61.5	26.0	142
平均または合計		-0.8	-2.3	1.5	4.1	2.6	1.5	-6.0	-8.0	2.0	41.5	46.7	▲5.2	89	11.0	14.5	▲3.5	177.1	145.2	31.9	122
4月	上旬	3.3	1.9	1.4	7.9	6.7	1.2	-1.1	-3.5	2.4	24.5	19.2	5.3	128	5.0	4.6	0.4	44.6	55.3	▲10.7	81
	中旬	3.6	4.1	▲0.5	10.3	9.4	0.9	-2.9	-1.0	▲1.9	0.0	19.8	▲19.8	0	0.0	4.6	▲4.6	97.0	56.5	40.5	172
	下旬	4.5	7.7	▲3.2	9.2	14.2	▲5.0	0.3	1.4	▲1.1	20.0	11.4	8.6	175	7.0	3.3	3.7	31.6	65.2	▲33.6	48
平均または合計		3.8	4.6	▲0.8	9.1	10.1	▲1.0	-1.2	-1.0	▲0.2	44.5	50.4	▲5.9	88	12.0	12.5	▲0.5	173.2	177.0	▲3.8	98
5月	上旬	10.9	9.8	1.1	16.9	16.1	0.8	4.7	4.0	0.7	39.5	23.9	15.6	165	4.0	4.9	▲0.9	45.7	55.6	▲9.9	82
	中旬	11.1	11.6	▲0.5	17.2	18.0	▲0.8	4.8	5.7	▲0.9	26.0	19.2	6.8	135	3.0	3.7	▲0.7	76.3	61.0	15.3	125
	下旬	13.8	14.7	▲0.9	19.9	21.4	▲1.5	8.2	8.5	▲0.3	37.5	20.4	17.1	184	5.0	3.7	1.3	87.4	82.9	4.5	105
平均または合計		11.9	12.0	▲0.1	18.0	18.5	▲0.5	5.9	6.1	▲0.2	103.0	63.5	39.5	162	12.0	12.3	▲0.3	209.4	199.5	9.9	105
6月	上旬	16.9	15.7	1.2	22.3	22.3	0.0	11.7	10.1	1.6	23.5	17.9	5.6	131	4.0	3.6	0.4	65.0	63.5	1.5	102
	中旬	17.1	16.9	0.2	22.0	22.4	▲0.4	12.8	12.3	0.5	44.0	34.4	9.6	128	6.0	4.2	1.8	33.5	55.4	▲21.9	60
	下旬	16.1	17.9	▲1.8	19.9	23.6	▲3.7	13.1	13.0	0.1	27.0	25.0	2.0	108	5.0	3.5	1.5	20.1	59.8	▲39.7	34
平均または合計		16.7	16.8	▲0.1	21.4	22.8	▲1.4	12.5	11.8	0.7	94.5	77.3	17.2	122	15.0	11.3	3.7	118.6	178.7	▲60.1	66
7月	上旬	20.4	20.1	0.3	26.0	25.5	0.5	15.5	15.7	▲0.2	59.5	50.3	9.2	118	5.0	3.8	1.2	67.8	55.0	12.8	123
	中旬	20.5	20.8	▲0.3	27.2	26.4	0.8	15.2	16.3	▲1.1	0.0	34.9	▲34.9	0	0.0	3.9	▲3.9	81.9	63.0	18.9	130
	下旬	20.6	22.6	▲2.0	26.3	28.1	▲1.8	16.0	18.2	▲2.2	27.5	64.1	▲36.6	43	3.0	4.0	▲1.0	66.1	61.6	4.5	107
平均または合計		20.5	21.2	▲0.7	26.5	26.7	▲0.2	15.6	16.7	▲1.1	87.0	149.3	▲62.3	58	8.0	11.7	▲3.7	215.8	179.6	36.2	120
8月	上旬	22.4	22.3	0.1	27.2	28.1	▲0.9	18.3	17.6	0.7	29.0	61.1	▲32.1	47	7.0	3.4	3.6	40.3	63.1	▲22.8	64
	中旬	22.0	21.1	0.9	27.2	26.2	1.0	17.0	17.1	▲0.1	23.0	90.1	▲67.1	26	4.0	5.6	▲1.6	47.1	44.5	2.6	106
	下旬	19.2	19.9	▲0.7	25.8	25.4	0.4	13.3	15.4	▲2.1	69.0	48.3	20.7	143	3.0	5.7	▲2.7	68.6	56.1	12.5	122
平均または合計		21.2	21.1	0.1	26.7	26.6	0.1	16.2	16.7	▲0.5	121.0	199.5	▲78.5	61	14.0	14.7	▲0.7	156.0	163.7	▲7.7	95
9月	上旬	22.0	19.1	2.9	27.6	24.9	2.7	17.3	14.3	3.0	49.5	58.9	▲9.4	84	5.0	4.9	0.1	49.0	51.9	▲2.9	94
	中旬	16.3	16.2	0.1	21.4	21.9	▲0.5	12.5	11.4	1.1	36.0	48.8	▲12.8	74	5.0	4.5	0.5	29.5	46.5	▲17.0	63
	下旬	13.4	13.8	▲0.4	19.5	20.0	▲0.5	8.7	8.3	0.4	5.0	32.4	▲27.4	15	3.0	4.3	▲1.3	51.3	52.8	▲1.5	97
平均または合計		17.2	16.4	0.8	22.8	22.3	0.5	12.8	11.3	1.5	90.5	140.1	▲49.6	65	13.0	13.7	▲0.7	129.8	151.2	▲21.4	86
10月	上旬	11.8	11.4	0.4	17.1	16.9	0.2	7.8	6.3	1.5	45.5	41.5	4.0	110	8.0	5.0	3.0	35.2	43.6	▲8.4	81
	中旬	8.7	8.4	0.3	14.7	13.8	0.9	3.2	3.4	▲0.2	52.5	33.9	18.6	155	7.0	5.9	1.1	44.2	39.5	4.7	112
	下旬	7.1	6.4	0.7	11.8	11.9	▲0.1	3.5	1.7	1.8	36.0	40.8	▲4.8	88	7.0	5.6	1.4	29.5	41.0	▲11.5	72
平均または合計		9.2	8.7	0.5	14.5	14.2	0.3	4.8	3.8	1.0	134.0	116.2	17.8	115	22.0	16.5	5.5	108.9	124.1	▲15.2	88

注1) 比布アメダス観測値。平年は過去10ヶ年の平均値。

注2) ▲印は平年に比べて低または減を示す。

表3 農耕期間積算値(5月～9月)

期間	項目	平均気温(℃)	降水量(mm)	降水日数(日)	日照時間(hr)
5月上旬 ～ 9月下旬	本年	2,680	496	62	830
	平年	2,685	630	64	873
比較		▲5	▲134	▲2	▲43

注1) 比布アメダス観測値。平年は過去10ヶ年の平均値。

注2) ▲印は平年に比べて低または減を示す。

2. 作 況

1) 水稲 平年並

事由：播種は平年並の4月15日に行った。出芽の揃いは良好であった。移植は平年より2日遅い5月20日に行った。移植時の草丈、葉数、第1葉鞘高は平年並であり、茎数は平年より0.1~0.3本多かった。苗100本当たりの地上部乾物重は平年より「ななつぼし」で0.26g軽く、「ゆめぴりか」で0.32g重かったが、苗の充実度を示す地上部乾物重/草丈はいずれも平年並であった。

5月下旬の平均気温および日照時間は平年並であり、活着は良好で生育は順調であった。6月20日時点の主稈葉数は平年並で、草丈は平年より1.7~5.4cm高かった。㎡当たりの茎数は「ななつぼし」で5%少なく、「ゆめぴりか」で5%多かった。6月上旬から中旬にかけて高温で推移したため、幼穂形成期は平年より4~5日早かった。

6月下旬の平均気温はやや低く、日照時間は少なかったが、幼穂形成期が早かったことと、7月上旬から中旬の最高気温および日照時間は平年を上回ったことから、止葉期は2~4日早く、出穂期は1~2日早かった。穂揃日数は平年より1~2日短かった。7月20日時点の草丈は平年より2.8~4.3cm高かったが、㎡当たりの茎数は平年並からやや少なかった。主稈の止葉葉数は平年より0.3~0.4枚少なかった。

8月下旬は多照、9月上旬は高温で経過したことから登熟は進み、成熟期は平年より7~8日早く、登熟日数は5~7日短かった。倒伏は発生しなかった。成熟期の稈長は平年より2.8cm~2.9cm短く、穂長は1.0cm~1.4cm長く、㎡当たり穂数は「ゆめぴりか」で2%多く、「ななつぼし」で5%少なかった。稔実歩合は「ななつぼし」で平年より0.7ポイント低く、「ゆめぴりか」で2.0ポイント高かった。平年と比較して㎡当たり籾数は4~10%少なく、㎡当たり稔実籾数は5~8%少なかった。登熟歩合は平年より1.4~2.7ポイント高く、屑米歩合は0.4~1.2ポイント低く、精玄米千粒重は平年並であった。精玄米重は「ななつぼし」が700kg/10a、「ゆめぴりか」が627kg/10aで、各々平年比101%、97%となり、2品種の平年比の平均は99%であった。玄米の検査等級は「ななつぼし」は平年並であったが、「ゆめぴりか」は白未熟粒が多かったことから平年よりやや劣った。

したがって、本年の作況は「平年並」である。

表4 水稻の生育および収量

品種名 項目 / 年次		ななつぼし			ゆめぴりか			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	
生育期節	播種期 (月.日)	4.15	4.15	0	4.15	4.15	0	
	移植期 (月.日)	5.20	5.18	2	5.20	5.18	2	
	幼穂形成期 (月.日)	6.20	6.24	△ 4	6.19	6.24	△ 5	
	止葉期 (月.日)	7.08	7.12	△ 4	7.09	7.11	△ 2	
	出穂期 (月.日)	7.20	7.22	△ 2	7.20	7.21	△ 1	
	成熟期 (月.日)	9.05	9.12	△ 7	9.03	9.11	△ 8	
	穂揃日数 (日)	8	9	△ 1	7	9	△ 2	
	登熟日数 (日)	47	52	△ 5	45	52	△ 7	
	生育日数 (日)	143	150	△ 7	141	149	△ 8	
移植時	草丈 (cm)	13.0	13.2	▲ 0.2	13.8	12.9	0.9	
	葉数 (枚)	4.0	4.0	0.0	4.1	4.1	0.0	
	茎数 (本)	1.8	1.7	0.1	2.2	1.9	0.3	
	第1葉鞘高 (cm)	2.3	2.3	0.0	2.4	2.4	0.0	
	地上部乾物重 (g/100本)	4.04	4.30	▲ 0.26	4.40	4.08	0.32	
	地上部乾物重/草丈	0.31	0.33	▲ 0.02	0.32	0.32	0.00	
	葉数 (枚)	6月20日	8.3	8.2	0.1	8.5	8.5	0.0
	7月20日	10.0	10.3	▲ 0.3	10.3	10.7	▲ 0.4	
	止葉葉数	10.0	10.3	▲ 0.3	10.3	10.7	▲ 0.4	
本田生育	茎数 (本/m ²)	6月20日	506	535	▲ 29	651	623	28
		7月20日	682	748	▲ 66	860	870	▲ 10
	草丈 (cm)	6月20日	44.0	38.6	5.4	39.3	37.6	1.7
	7月20日	84.2	79.9	4.3	81.7	78.9	2.8	
成熟期	稈長 (cm)	66.9	69.8	▲ 2.9	63.4	66.2	▲ 2.8	
	穂長 (cm)	17.8	16.4	1.4	17.3	16.3	1.0	
	穂数 (本/m ²)	659	692	▲ 33	818	805	13	
収量構成要素	一穂粒数 (粒)	54.3	53.9	0.4	41.2	46.5	▲ 5.3	
	m ² 当たり粒数 (×千)	35.8	37.3	▲ 1.5	33.7	37.4	▲ 3.7	
	稔実歩合 (%)	94.6	95.3	▲ 0.7	94.2	92.2	2.0	
	m ² 当たり稔実粒数 (×千)	33.9	35.5	▲ 1.6	31.7	34.5	▲ 2.8	
	同上記 (%)	95	100	▲ 5	92	100	▲ 8	
	登熟歩合 (%)	87.5	86.1	1.4	83.6	80.9	2.7	
	粒摺歩合 (%)	81.5	80.3	1.2	78.8	78.6	0.2	
	屑米歩合 (%)	1.8	3.0	▲ 1.2	3.3	3.7	▲ 0.4	
	精玄米千粒重 (g)	22.2	22.2	0.0	22.5	22.7	▲ 0.2	
収量	藁重 (kg/10a)	637	645	▲ 8	621	610	11	
	精粒重 (kg/10a)	848	865	▲ 17	791	831	▲ 40	
	精玄米重 (kg/10a)	700	692	8	627	650	▲ 23	
	収量平年比 (%)	101	100	1	97	100	▲ 3	
	検査等級 (等)	1下	1下	-	2中	2上	-	

注1) 平年値は前7カ年の中、平成29年(最豊年)、令和元年(最凶年)を除く5カ年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

3) 苗代耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥量：成分量でm²当たり、床土 N 3.0g, P₂O₅ 7.2g, K₂O 3.0g

置床 N 27.0g, P₂O₅ 34.0g, K₂O 18.0g

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：成分量で10a当たり、N 8.0kg, P₂O₅ 9.7kg, K₂O 6.9kg, 堆肥1,000kg

5) 精玄米千粒重・精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算

2) 秋まき小麦 (R1年播種) 不良

事由：平年より3日遅い、9月18日に播種を行った。9月18日の播種以降の1週間で60mm程度の降雨があり、土壌表面が固まるクラストが発生した。土壌表面が固くなったため、出芽が阻害され出芽期は平年より8日遅く、また出芽率も60%程度と低くなった。越冬前の葉数は少なく、草丈は低く、茎数はかなり少なかった。

根雪始は平年より7日早く、根雪終は平年より13日早く、積雪期間は平年より5日短い138日となった。雪腐病発病度は平年より低かった。越冬後5月20日時点での草丈は平年より長い。茎数は平年より少なかった。5月下旬は平年並の気温で推移したため、出穂期は平年並となった。6月上旬から7月上旬にかけて気温は平年並で、降水量はやや多く、日照時間は少なかった。稈長、穂長は平年よりやや長い。生育初期からの茎数不足により穂数は平年より約3割少なかった。成熟期は平年より1日遅い7月19日であり、出穂期は平年並であったため、登熟期間は平年より1日長かった。子実重は平年比77%と低収であった。容積重および千粒重はやや重く、蛋白質含有率はやや高かった。検査等級は1等であった。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表5 秋まき小麦の生育および収量

品 種 名		きたほなみ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		9.18	9.15	3
出芽期 (月.日)		10.02	9.24	8
出穂期 (月.日)		6.05	6.05	0
成熟期 (月.日)		7.19	7.18	1
越冬茎歩合 (%)		145.0	110.3	34.7
雪腐病発病度		1.9	17.4	▲ 15.5
葉数(枚)	令元年10月20日	3.1	4.6	▲ 1.5
草丈 (cm)	令元年10月20日	13.2	18.5	▲ 5.3
	令2年 5月20日	43.2	38.1	5.1
	令2年 6月20日	89.4	83.7	5.7
茎数 (本/m ²)	令元年10月20日	155	856	▲ 701
	令2年 5月20日	824	1223	▲ 399
	令2年 6月20日	505	617	▲ 112
成熟期	稈長 (cm)	78	74	4
	穂長 (cm)	10.1	8.4	1.7
	穂数(本/m ²)	379	528	▲ 149
子実重 (kg/10a)		470	612	▲ 142
同上平年比 (%)		77	100	▲ 23
容積重 (g/L)		845	839	5
千粒重 (g)		45.3	42.0	3.3
蛋白質含有率 (%)		10.8	9.1	1.7
検査等級 (等)		1等	1等	-

注1) 平年値は、前7か年中、平成27年(最豊年)、平成30年(最凶年、収穫年度)を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より“減”を示す。

3) 春まき小麦 やや不良

事由：播種は平年より2日遅い4月20日に行った。播種後の気温が平年より低く経過したことから、出芽期は平年より4日遅かった。5月中旬までは、草丈および茎数は平年を下回っていたが、その後の天候の回復により、草丈および茎数は平年並となった。

6月下旬には低温・日照不足となったが、7月上旬からは気温が平年並で日照時間も多かったことから、穂数は平年を上回った。穂長は平年よりやや短い、稈長は平年より長く、7月9日の降雨により“中”程度の倒伏が認められた。成熟期は平年より1日遅く、出穂期も平年より3日遅かったため登熟期間は平年より2日短かった。

6月下旬の低温による不稔の発生や、7月上旬に中程度発生した倒伏の影響を受け、子実重は平年比94%であった。容積重は平年よりやや重く、千粒重および蛋白質含有率は平年並であった。検査等級は平年を上回る1等であった。

したがって、本年の作況は「やや不良」である。

表6 春まき小麦の生育および収量

品 種 名		春よ恋		
項 目 / 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	4.20	4.18	2
出芽期	(月.日)	5.06	5.02	4
出穂期	(月.日)	6.19	6.16	3
成熟期	(月.日)	7.29	7.28	1
草丈 (cm)	5月20日	20.1	21.9	▲ 1.8
	6月20日	82.9	83.8	▲ 0.9
茎数 (本/m ²)	5月20日	419	742	▲ 323
	6月20日	791	749	42
成 熟 期	稈長 (cm)	104	90	14
	穂長 (cm)	8.2	8.7	▲ 0.5
	穂数 (本/m ²)	578	487	91
子実重	(kg/10a)	501	535	▲ 34
同上	平年比 (%)	94	100	▲ 6
容積重	(g/L)	838	802	36
千粒重	(g)	42.0	41.4	0.6
蛋白質含有率	(%)	12.3	12.0	0.3
検査等級	(等)	1等	2上	-

注1) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊年)、平成30年(最凶年)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

4) 大豆 不良

事由：播種は、平年より1日遅い5月20日に行った。播種後の5月下旬は平年並の気温で推移した。出芽期は平年並であった。出芽後の6月上旬から7月上旬にかけて気温は平年並で、降水量はやや多く、日照時間は少なかった。開花期は平年並であった。7月20日時点で主茎長は平年より長く、主茎節数および分枝数は平年並であった。7月中旬から8月中旬にかけて、気温および日照時間は平年並であったが、降水量は少なかった。9月上旬の気温は高く推移したが、その後の気温は平年並で推移した。成熟期は9月19日と平年より1日早かった。平年と比べて、主茎長はやや長いものの、主茎節数および分枝数は平年並で、着莢数は平年を下回った。子実重は376kg/10aで平年比88%と下回った。百粒重は平年より1.0g重い35.8gであり、屑粒率は平年を上回った。検査等級は3中と下回った。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表7 大豆の生育および収量

品 種 名		ユキホマレ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.20	5.19	1
出芽期	(月.日)	6.02	6.02	0
開花期	(月.日)	7.12	7.12	0
成熟期	(月.日)	9.19	9.20	△ 1
主茎長 (cm)	6月20日	14.0	12.6	1.4
	7月20日	61.4	54.3	7.1
	8月20日	67.1	59.9	7.2
	9月20日	64.2	60.0	4.2
	成熟期	64.2	60.0	4.2
主茎 節数 (節)	6月20日	3.8	4.1	▲ 0.3
	7月20日	9.6	9.8	▲ 0.2
	8月20日	10.2	10.1	0.1
	9月20日	10.2	10.2	0.0
	成熟期	10.2	10.2	0.0
分枝数 (本/株)	7月20日	6.0	6.5	▲ 0.5
	8月20日	6.5	7.1	▲ 0.6
	9月20日	5.7	6.2	▲ 0.5
	成熟期	5.7	6.2	▲ 0.5
着莢数 (個/株)	8月20日	73.0	91.0	▲ 18.0
	9月20日	68.9	78.2	▲ 9.3
	成熟期	69.0	78.2	▲ 9.2
子実重	(kg/10a)	376	425	▲ 49
同上	平年比 (%)	88	100	▲ 12
百粒重	(g)	35.8	34.8	1.0
屑粒率	(%)	3.2	1.9	1.3
検査等級	(等)	3中	2中	-

注1) 平年値は前7か年中、平成26年(最豊年)、平成30年(最凶年)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

5) 小豆 不良

事由：播種は平年より2日早い5月22日に行った。播種後の降雨により土壌水分が十分であったことから、出芽期は平年より4日早かった。その後の気温が平年並に推移したことや6月下旬～7月上旬にかけて降水量が多く、土壌水分が十分確保できたことから、主茎長がやや長く、分枝数は平年より多く推移した。しかし、8月7日の暴風雨により、一部倒伏が発生したことや開花期は平年より2日早かったことなどから、8月中旬以降は、主茎長はやや短くなった。8月中旬以降の高温傾向により登熟が一気に進み、成熟期は平年より13日早かった。主茎長は平年より短く、主茎節数も少なかった。分枝数はやや多いが、着莢数は平年をやや下回った。百粒重は平年より0.9g軽く、屑粒率は平年を下回ったが、子実重は平年比80%であった。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表8 小豆の生育および収量

品 種 名		エリモシヨウズ		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.22	5.24	△ 2
出芽期 (月.日)		6.05	6.09	△ 4
開花期 (月.日)		7.23	7.25	△ 2
成熟期 (月.日)		9.03	9.16	△ 13
主茎長 (cm)	6月20日	6.2	4.3	1.9
	7月20日	30.9	24.3	6.6
	8月20日	62.1	66.6	▲ 4.5
	成熟期	63.1	72	▲ 8.9
本葉数 (枚)	6月20日	1.5	1.1	0.4
	7月20日	8.4	8.0	0.4
	8月20日	11.2	12.1	▲ 0.9
主茎節数 (節)	成熟期	12.2	14.1	▲ 1.9
分枝数 (本/株)	7月20日	7.8	4.8	3.0
	8月20日	7.1	5.5	1.6
	成熟期	7.1	5.8	1.3
着莢数 (個/株)	8月20日	59	55	4
	成熟期	52	58	▲ 6
子実重 (kg/10a)		299	375	▲ 76
同上平年比 (%)		80	100	▲ 20
百粒重 (g)		13.2	14.1	▲ 0.9
屑粒率 (%)		1.1	3.1	▲ 2.0
検査等級 (等)		1等	2下	-

注1) 平年値は前7か年中、平成25年(最凶年)、平成29年(最豊年)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

5) ばれいしょ 不良

事由：植え付けは、平年より1日早い5月8日に行った。植付け後、気温がやや低めに推移したため、萌芽期は平年より3日遅れた。その後の気温は、平年並に推移したことから、開花始は平年並であった。茎長は平年よりやや長く、7月9日の降雨により“中”程度の倒伏が認められた。7月下旬から8月上旬にかけて降水量が少なかったため、塊茎の肥大があまり進まなかった。枯凋期は平年より3日遅かった。上いも数、上いもの平均重は平年並であったが、上いも収量は平年比91%であった。中以上いも収量は平年比94%であったが、3L以上の塊茎が多く、規格内いも重は平年比83%であった。でん粉価は平年を0.7ポイント上回った。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表9 ばれいしょの生育および収量

品 種 名		男爵薯		
項 目 / 年次		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.08	5.09	△ 1
萌芽期 (月.日)		5.31	5.28	3
開花始 (月.日)		6.23	6.23	0
枯凋期 (月.日)		8.30	8.27	3
茎長 (cm)	6月20日	31.9	35.5	▲ 3.6
	7月20日	55.1	51.1	4.0
上いも数 (個/株)	7月20日	7.5	9.3	▲ 1.8
	8月20日	7.7	10.5	▲ 2.8
上いもの 平均重(g)	7月20日	85	77	8
	8月20日	116	107	9
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	2841	3119	▲ 278
	8月20日	3955	4922	▲ 967
でん粉価 (%)	7月20日	15.3	14.4	0.9
	8月20日	15.6	14.6	1.0
収 穫 期	上いも数 (個/株)	8.4	10.3	▲ 1.9
	上いもの平均重 (g)	119	107	12
	上いも収量 (kg/10a)	4451	4865	▲ 414
	同上平年比 (%)	91	100	▲ 9
	中以上いも収量 (kg/10a)	4057	4339	▲ 282
	同上平年比 (%)	94	100	▲ 6
	規格内いも収量 (kg/10a)	3347	4018	▲ 671
	同上平年比 (%)	83	100	▲ 17
	でん粉価 (%)	15.0	14.3	0.7

注1) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊年)、平成30年(最凶年)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。